



HP「辻よし子と歩む会」で検索



「辻よし子と歩む会」

☎ 190-0154

あきる野市高尾 182-1 佐橋方

電話 & FAX : 042-596-4569

e-mail : kusasigi@nifty.com

共同代表 : 柏倉倫子・岩田純子

小さな声に耳をすまし、大きな力にひるまず、コツコツと手作りの政治を！

## 原発再稼働 あきる野の議員は、賛成？ 反対？

福島原発事故からもうすぐ4年。

被災地では、仕事と故郷を奪われ十分な補償や支援がないまま、先の見えない生活を送っている人々がいます。

原発から漏れ出した放射能は、今も海を汚染し続けています。

一度、原発事故が起きれば、どれだけ深刻な被害が広がり、事故処理がどれだけ難しいか、私たちは3.11を通じて思い知らされました。

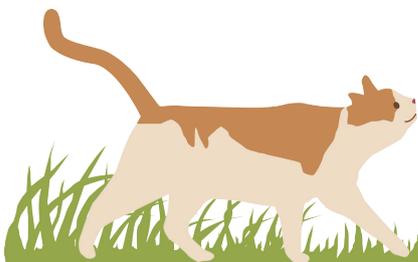
3.11後の日本において、原発の再稼働はあり得ない選択です。ましてや、被災地の復興が全く進んでいない中、被災地の人々の気持ちを考えれば、再稼働は倫理的にも許されません。

現在、全国の600を超える自治体議会から、「原発ゼロ・再稼働反対」などの意見書が政府に出されています。

昨年12月あきる野市議会でも、原発の再稼働に関する審議がおこなわれました。「川内原発の再稼働に反対する意見書を政府に提出して欲しい」という陳情が、市民グループから出されたからです。

ところが、あきる野市議会は、この陳情を不採択にしました。つまり、再稼働にはっきりとした反対の立場を示さなかったのです。果たして議会は、私たち市民の民意を反映していると言えるでしょうか。

立川、調布、小平、町田、国立、武蔵野……等々、原発ゼロや再稼働反対の意見書を出している議会もたくさんあるんだって！

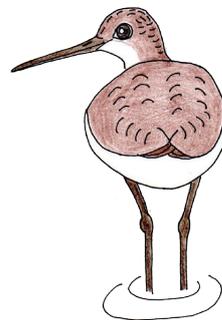


★再稼働に反対する意見書の提出に賛成○か、反対×か？

会派	議員名	賛否	会派	議員名	賛否	
自民党・志清会	天野正昭	×	公明党	田中千代子	×	
	市倉理男	×		増崎俊宏	×	
	子籠敏人	×		松原敏雄	×	
	澤井敏和	×	共産党	たばたあずみ	○	
	中嶋博幸	×		戸沢弘征	○	
	細谷功	×		山根トミ江	○	
	会・自民党 あきる野市議	堀江武史	*	政和会	合川哲夫	○
		町田匡志	×		野村正夫	○
村野栄一		×	民主党	清水晃	○	
奥秋利郎	×	中村のりひと		○		
	村木英幸	×	*議長のため採決に加わらず。			

この審議では、もう一つ大きな問題がありました。意見書の提出に反対する自民党の議員が、「国が決めることに地方議会が口出しすべきではない」という趣旨の発言をしたことです。これは大へんな誤りです。地方議会が国政に対して意見する権利は、法律で定められています。

主権者である私たちが、一番身近な市議会を通じて、国政に声を届けることは、民主主義社会において、大切な市民の権利です。



## 被災地の子どもたちの 未来を守るために

原発事故から28年が経ったチェルノブイリでは、甲状腺がんだけでなく、様々な病気の子どもたちが増え、放射線の影響が改めて問われています。ウクライナでは、「チェルノブイリ法」にもとづき、政府によるきめ細かな健康診断や長期の保養キャンプ、医療費補助など手厚い支援が続けられています。

ところが日本では、「放射線の影響が出るとは考えにくい」という前提で、甲状腺検査以外何一つ詳しい検査は行われていません。しかも、甲状腺検査で112人\*の子どもたちに癌（疑いを含む）が見つかったことに対しても、「放射線の影響とは言えない」という立場です。

原発事故で子どもたちに被ばくをさせた以上、あらゆる手を尽くして支援し続けることが、大人社会の責任ではないでしょうか。市民グループが行っている尿検査では、福島の子どもたちの尿から高い割合でセシウムが検出され、今後の健康影響が心配されています。

2012年に作られた「原発事故・子ども被災者支援法」には、放射線の影響は十分に

説明されていないので、予防原則に従って検診等の支援をしていくべきだと書かれています。しかし、安倍政権において、この法律は骨抜きにされ、実行されていません。

「原発事故・子ども被災者支援法」の精神に基づき、きめ細かな健康調査をすることが、子どもたちの未来を守るために、ぜひとも必要です。（\*下表参照。113人中、1人は良性）



福島県甲状腺検査の結果（2014.10.31まで）

悪性 または その疑い	<b>113人</b>	
	手術	85人
	乳頭癌	81人
	低分化癌	3人
	良性結節	1人
性別	男の子	41人
	女の子	72人
平均腫瘍径	14 mm	

## 横田基地を見てきました



遠くに見えるのがあきる野市上空をよく飛んでいる輸送機 C130

「くさしぎ・草の根市議と市政を考える会」では、市政に関わる様々な学習会をおこなっています。

先日、横田基地の見学&学習会をおこないました。

「最近、飛行機の音がうるさいな」と感じている人はいませんか？

2012年から横田基地での飛行訓練が増え、大規模な編隊を組んで飛行したり、高度3,000メートルからパラシュートで人が降りる訓練なども行なわれています。

また、ここ1年半の間に飛行中の輸送機から部品が落下する事故が5件も起きています。今後は、事故の危険が高いとされるオスプレイの配備も予想されています。

身近にありながら、あまり知らない横田基地の実態。まずは関心を持つことの大切さを、基地見学を通して改めて感じました。



### 辻よし子・プロフィール

1960年生まれ。小学校教員を経て、ボランティアとしてタイの農村教育に関わる。1995年よりあきる野市に暮らす。「川原で遊ぶ会」を中心に、市内の環境保全活動に取り組む。3.11以後、新たに脱原発の市民活動を始める。2013年、市議選に立候補、惜しくも次点。現在、夫、高2・中1の息子と草花に暮らす。

「辻よし子と歩む会」

会員募集中！

年会費：1,000円（カンパ歓迎！）

郵便振替

加入者名 辻よし子と歩む会

口座番号 00140-9-430053

ゆうちょ銀行(店番)〇一九(ゼロイチキュウ)店(019)

当座 0430053